

## ノルアドレナリン抵抗性敗血症性ショックにおけるアドレナリン持続投与の効果に関する情報公開

### 1. 研究の対象

敗血症性ショックで 2014 年 1 月 1 日～2017 年 12 月 31 日に当院の EMICU で治療を受けられた方

### 2. 研究目的・方法・研究期間

#### ＜目的＞

敗血症性ショックにより治療を受ける方の予後は、集中治療医学の発達により改善されつつあります。血圧が低く保たれない場合にはノルアドレナリンという昇圧剤が一般的には使用されますが、それでも血圧が保たれない場合にはバソプレシンやアドレナリンという昇圧剤が使用されます。本研究ではアドレナリンがどのような場合によく効いていたかを過去の診療情報を遡って解析します。

#### ＜方法＞

調査は全て、名古屋大学救急科 沼口 敦 を研究責任者として行われ、研究責任者及び分担者以外に本研究に関する個人情報を扱うことはございません。今までに記録された診療情報をもとに行い、新たな追加検査は必要としません。調査対象患者さんのカルテを調べ、アドレナリンに対する反応に関与する因子があるかを調べます。

#### ＜研究期間＞

研究承認日～2019 年 3 月 31 日

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：特になし

情報：病歴、ICU での治療歴、使用した薬剤等

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学大学院医学研究科 救急・集中治療医学分野 医員 春日井 大介

〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65

TEL: (052) 744-2659 FAX: (052) 744-2979

研究責任者：名古屋大学大学院医学研究科 救急・集中治療医学分野 病院助教 沼口